

岩手の若者団体のホンネを聴く！

.....

# 若者団体活動実態 調査レポート

2024年3月31日  
いわて若者カフェ



## 1. 調査目的

岩手県内で活動する若者団体の活動実態および活動上における課題感などを把握することを目的として、岩手県内の若者団体を対象としたアンケート調査を実施します。アンケート調査の結果は「Co.Nex.Us」および若者活躍情報誌の一部に掲載することで、幅広い世代の岩手県内の若者の主体的活動に関する理解促進、今後の若者活躍支援施策を検討する資料として活用します。

## 2. 実施期間

2024年3月1日(金)～3月8日(金)

## 3. 調査対象

岩手県内で活動する若者団体※1

※1：岩手県内に居住する又は岩手県出身の40歳未満の者（以下「若者」といいます。）が2名以上で構成されている団体であり、その団体の構成員の過半数が若者であること

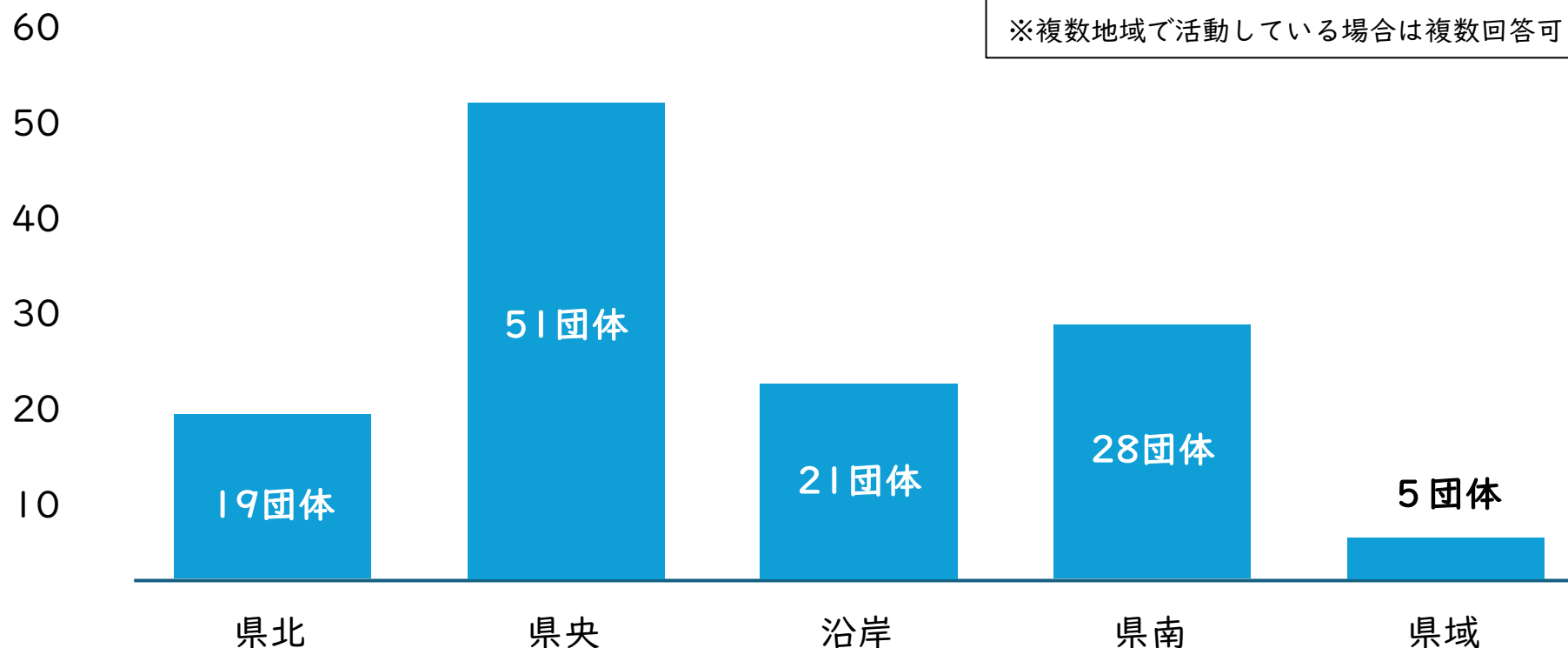
## 4. 調査方法

Webアンケート 【143団体へ調査依頼。回答数：54団体（回答率38%）】

## Q1. 普段の活動エリアを教えてください。

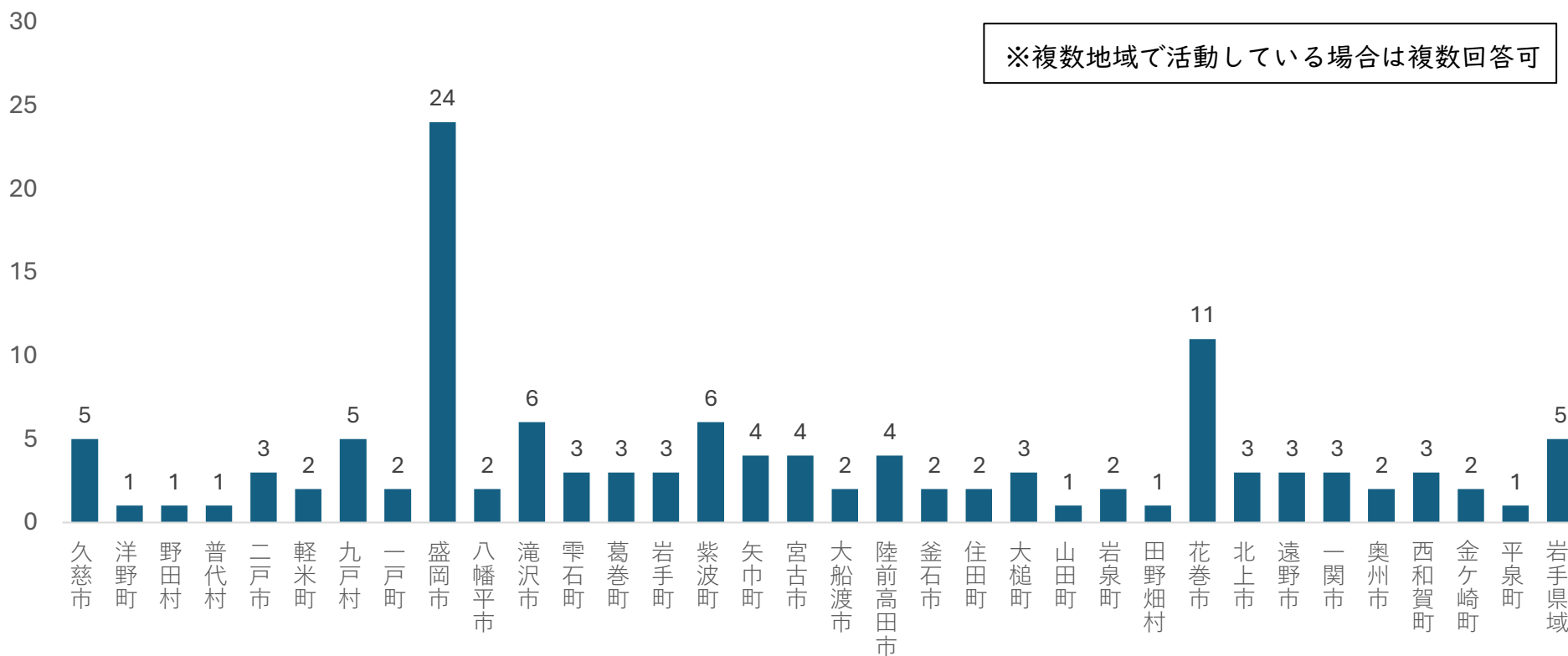
回答協力いただいた若者団体の普段の活動エリアを「県北/県央/沿岸/県内/県域」で分類した際、**県央地域が「51団体」と最も多く**、次いで県南地域、沿岸地域、県北地域、県域の順で多かった。

※複数地域で活動している場合は複数回答可



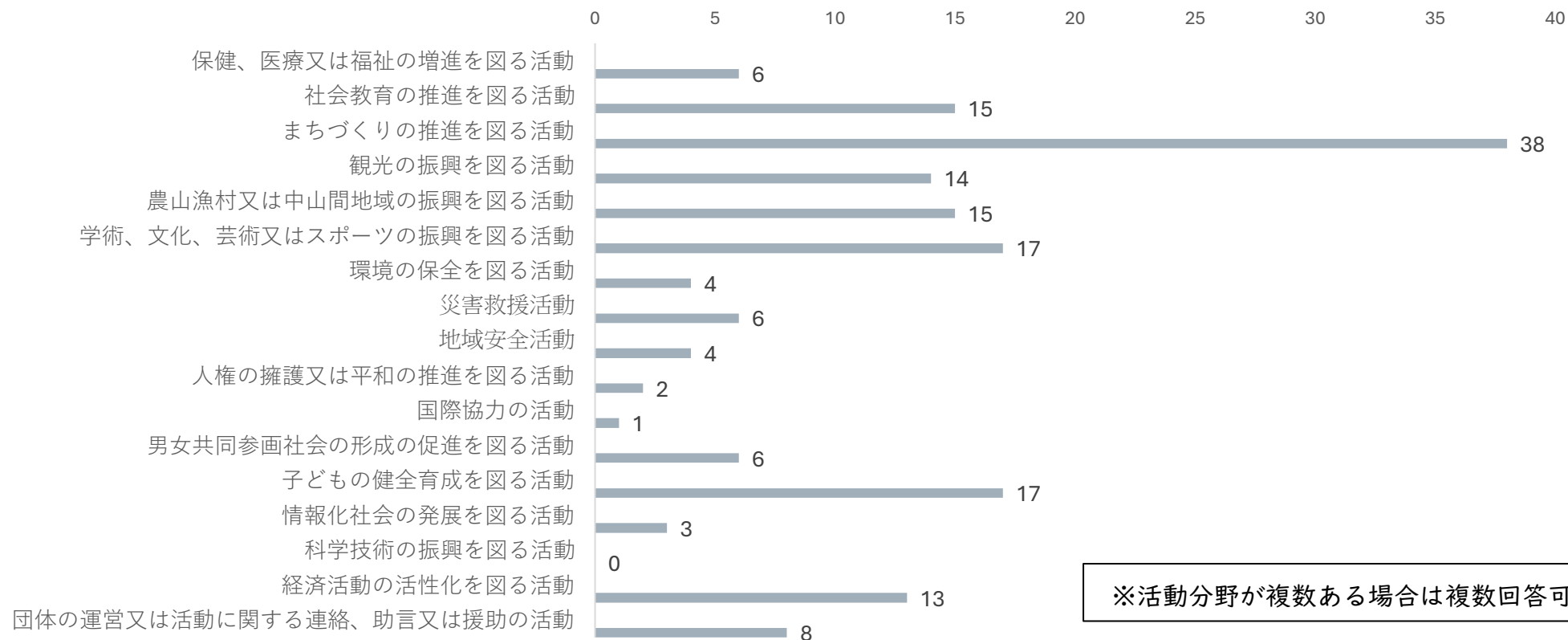
## Q1. 普段の活動エリアを教えてください。

回答協力いただいた若者団体の普段の活動エリアを市町村別で分類した際、**盛岡市が24団体と最も多く**、次いで花巻市、紫波町、滝沢市の順で多かった。なお、県北地域では久慈市と九戸村、県央地域では盛岡市、沿岸地域では宮古市、県南地域では花巻市が多い結果となった。



## Q2.団体の活動分野を教えてください。

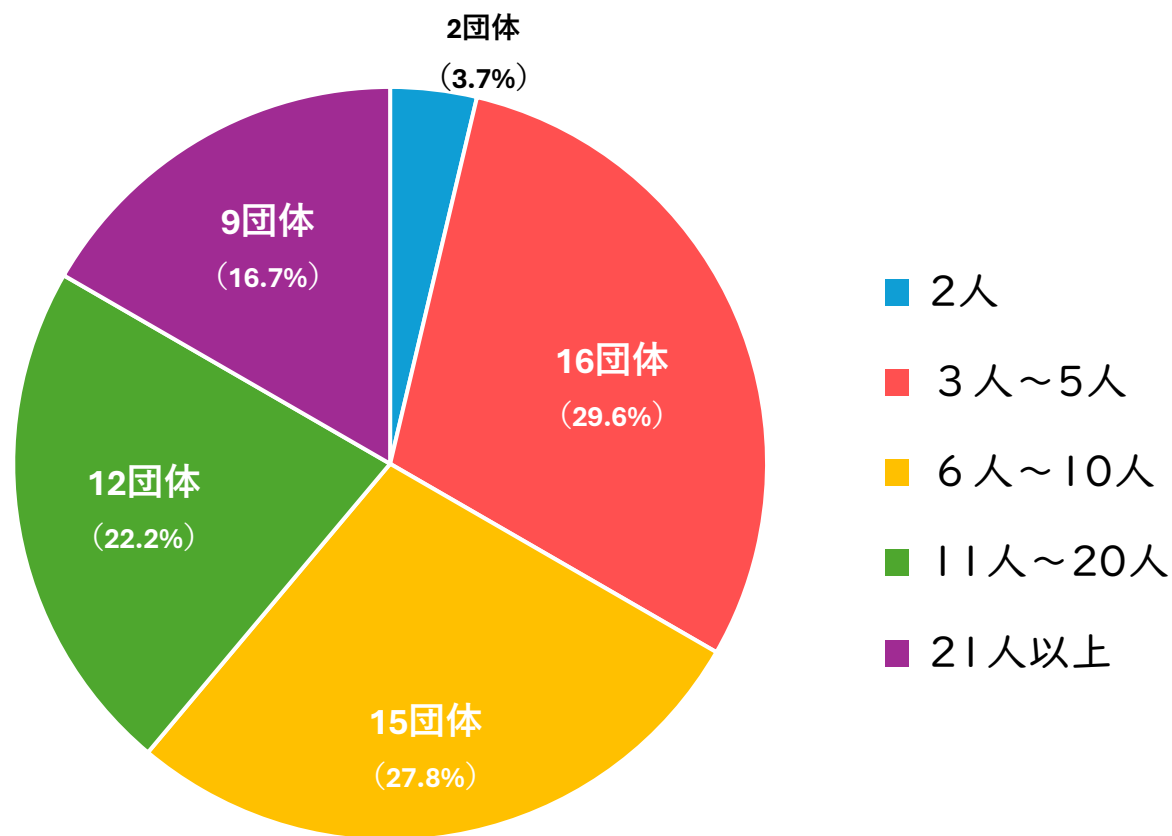
回答協力いただいた若者団体の活動分野は、「まちづくりの推進を図る活動」が38団体と最も多く、次いで「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」、「子どもの健全育成を図る活動」、「社会教育の推進を図る活動」、「農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動」の順が多かった。



※活動分野が複数ある場合は複数回答可

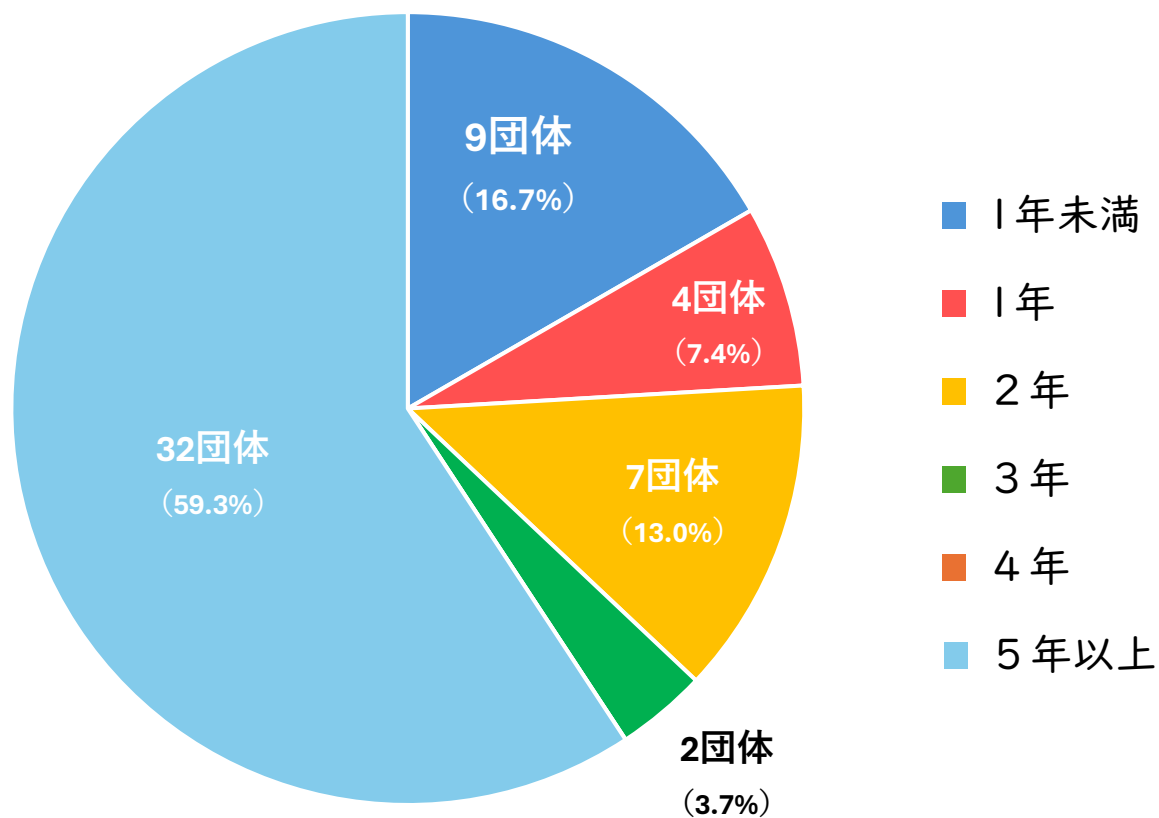
### Q3.団体の活動人数を教えてください。

回答協力いただいた若者団体の活動人数は「3～5人（29.6%）」が最も多く、次いで「6～10人」、「11人～20人」の順で多かった。



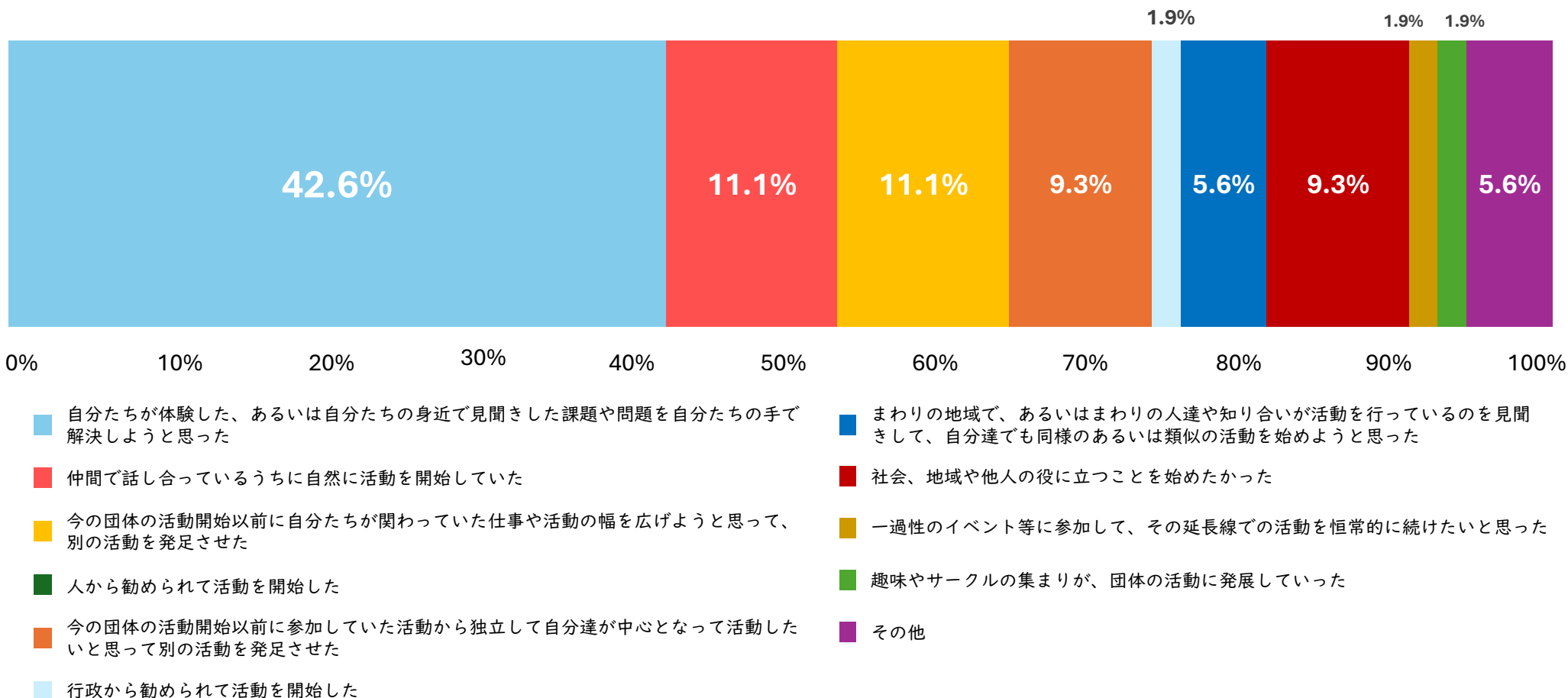
## Q4.団体の活動年数を教えてください。

回答協力いただいた若者団体の活動年数は「5年以上（59.3%）」が32団体と最も多く、次いで「1年未満」、「2年」の順で多かった。



## Q5.団体が発足した動機を教えてください。

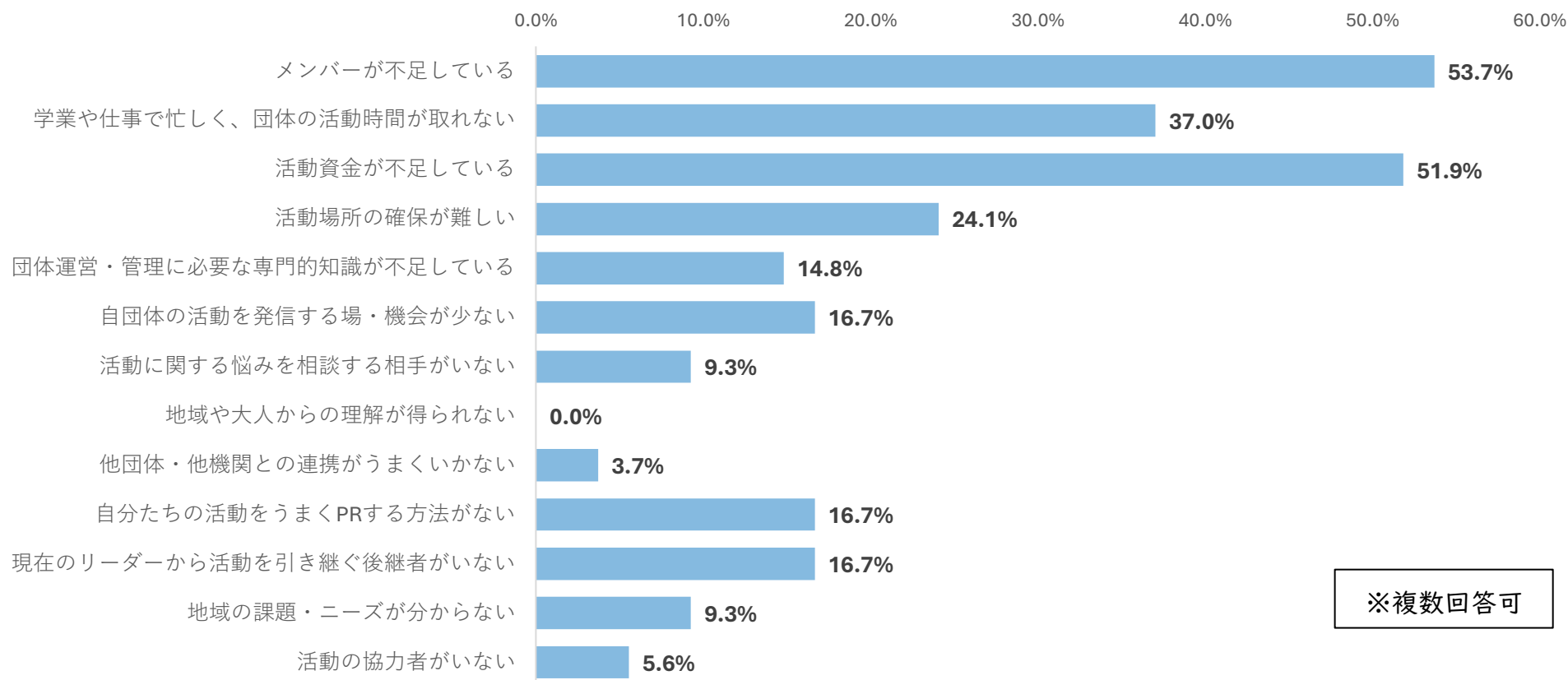
回答協力いただいた若者団体の発足動機としては「自分たちが体験した、あるいは自分たちの身近で見聞きした課題や問題を自分たちの手で解決しようと思った」が23団体と最も多かった。





## Q6.活動上で抱えている課題を教えてください。

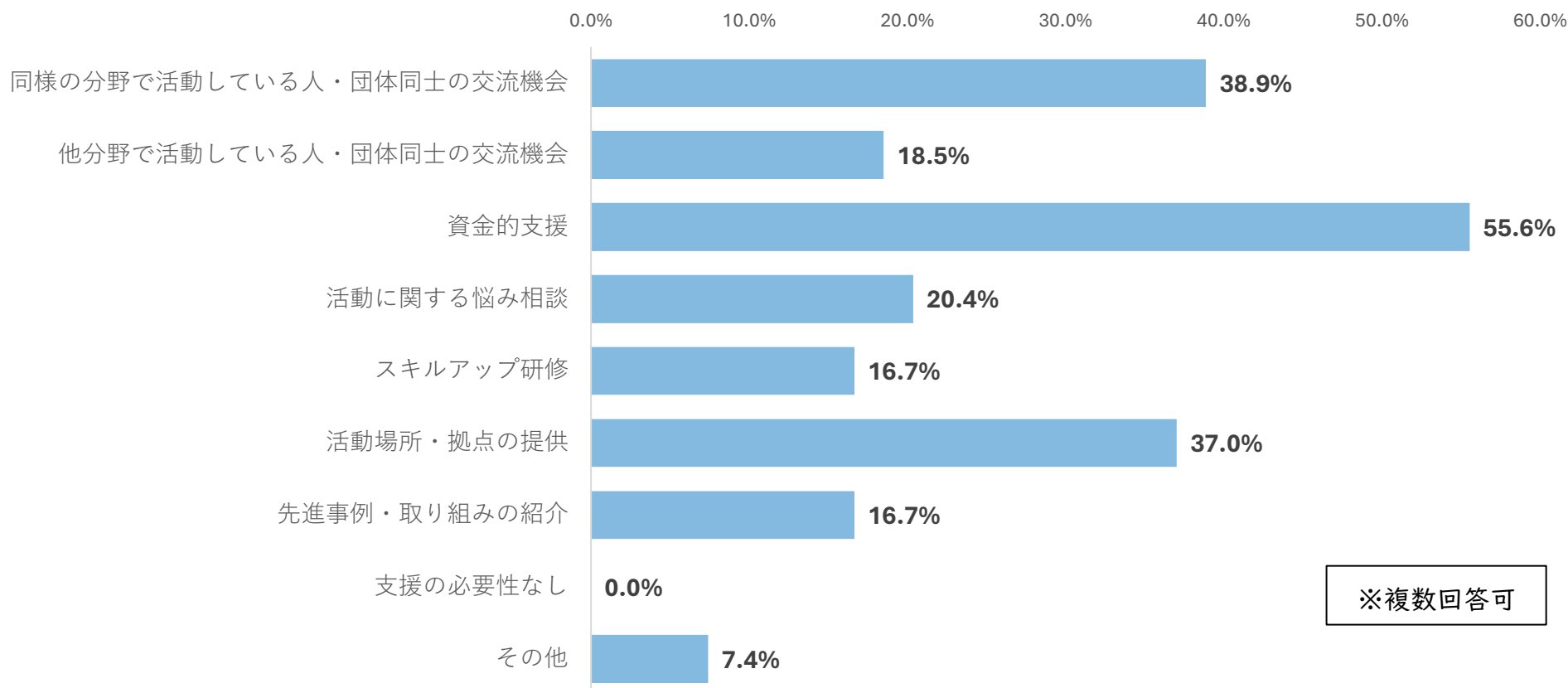
回答協力いただいた若者団体の活動上の課題として、「**メンバー不足**」が**29団体 (53.7%)**と最も多く、次いで「活動資金の不足」、「学業・仕事により活動時間が取れない」、「活動場所の確保」の順が多かった。



※複数回答可

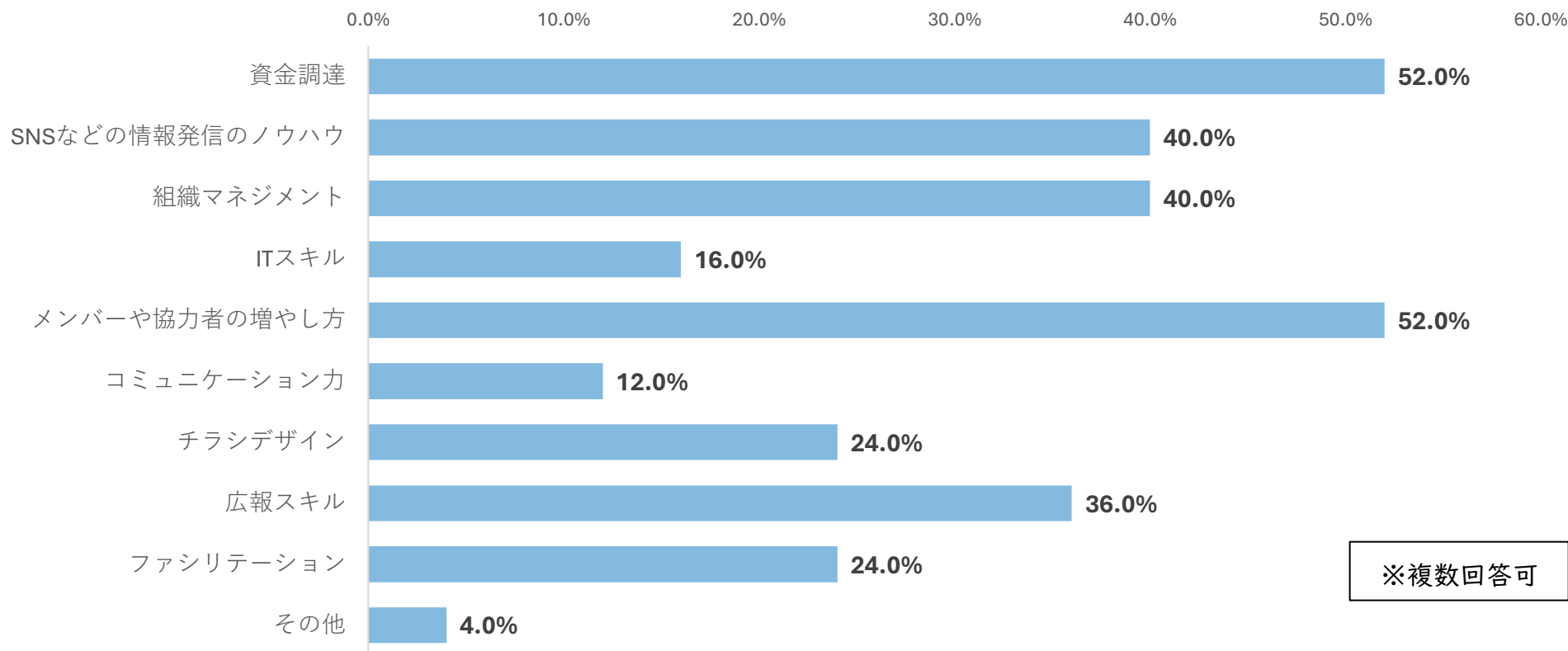
## Q7-1. 行政や支援機関から協力してほしいことを教えてください。

回答協力いただいた若者団体が行政や支援機関から協力してほしいこととして、「**資金的援助**」が**30団体（55.6%）**と最も多く、次いで「同様の分野で活動している人・団体の交流機会」、「活動場所・拠点の提供」の順が多かった。



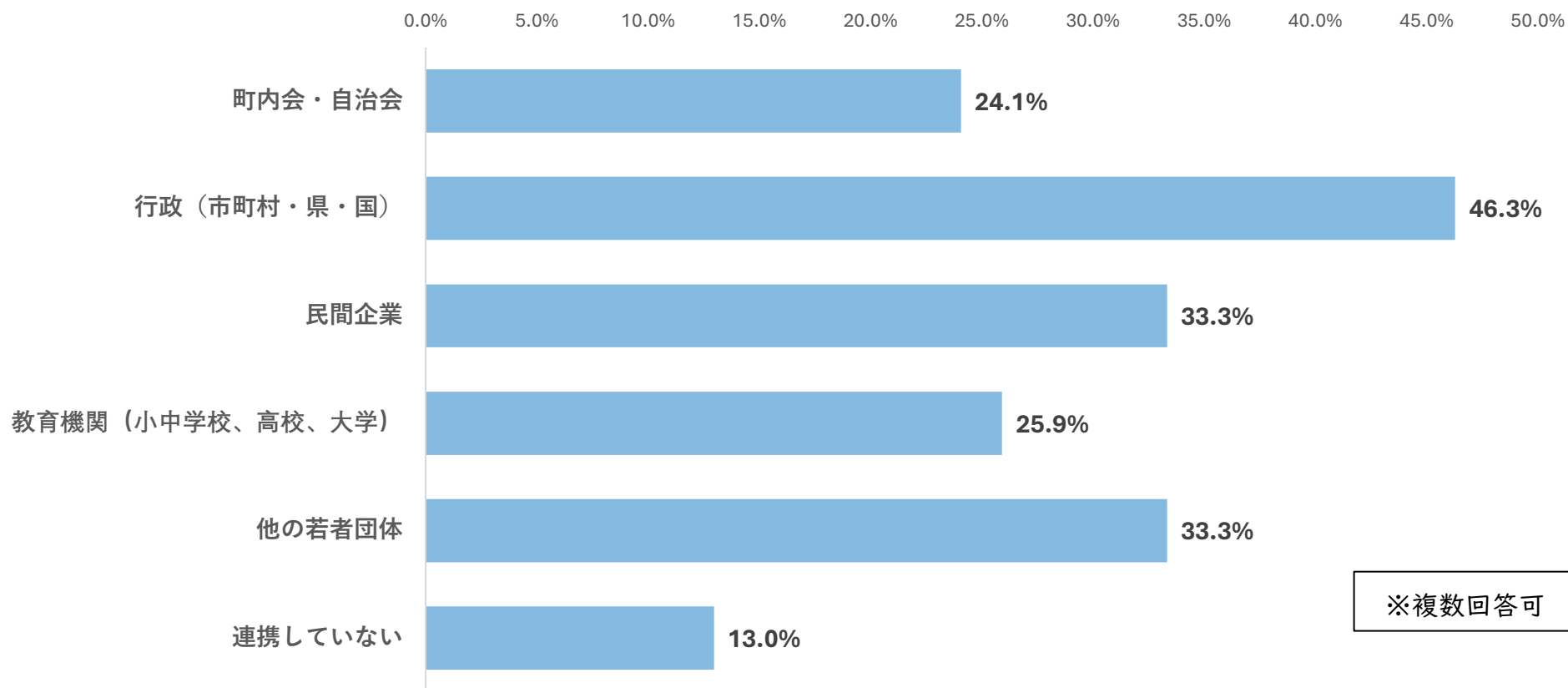
## Q7-2.スキルアップ研修で取り上げてほしい内容を教えてください。

「Q7-1.行政や支援機関から協力してほしいこと」で「スキルアップ研修」と回答した若者団体の中で、「**資金調達（ファンドレイジング）**」、「**メンバーや協力者の増やし方**」が全体の**52%**と最も多く、次いで「SNS等の情報発信ノウハウ」「組織マネジメント」の順が多かった。



## Q8-1.現在活動するうえで連携している団体・組織を教えてください。

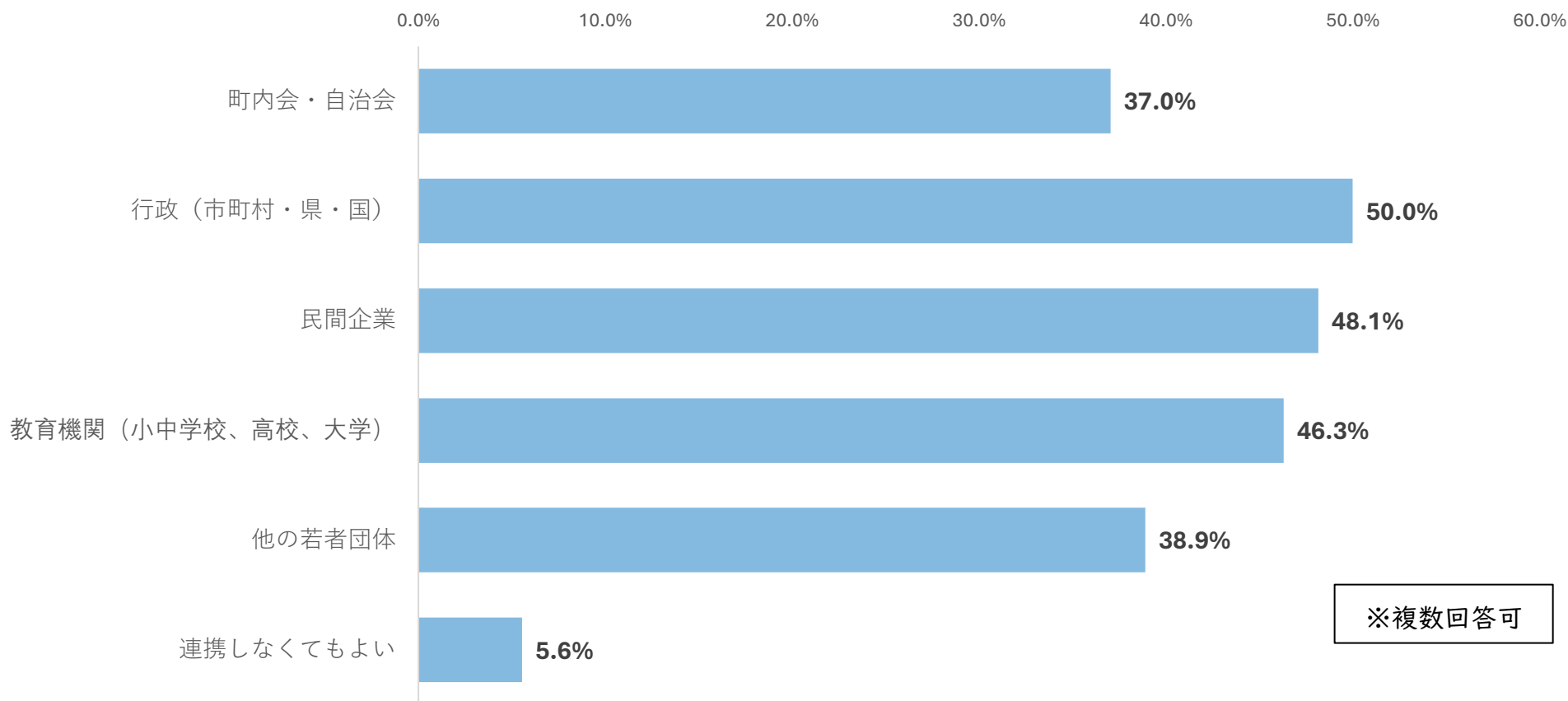
回答協力いただいた若者団体が活動上で連携している団体・組織は、「行政（市町村・県・国）」が**25団体（46.3%）**と最も多く、次いで「民間企業」、「他の若者団体」の順で多かった。



※複数回答可

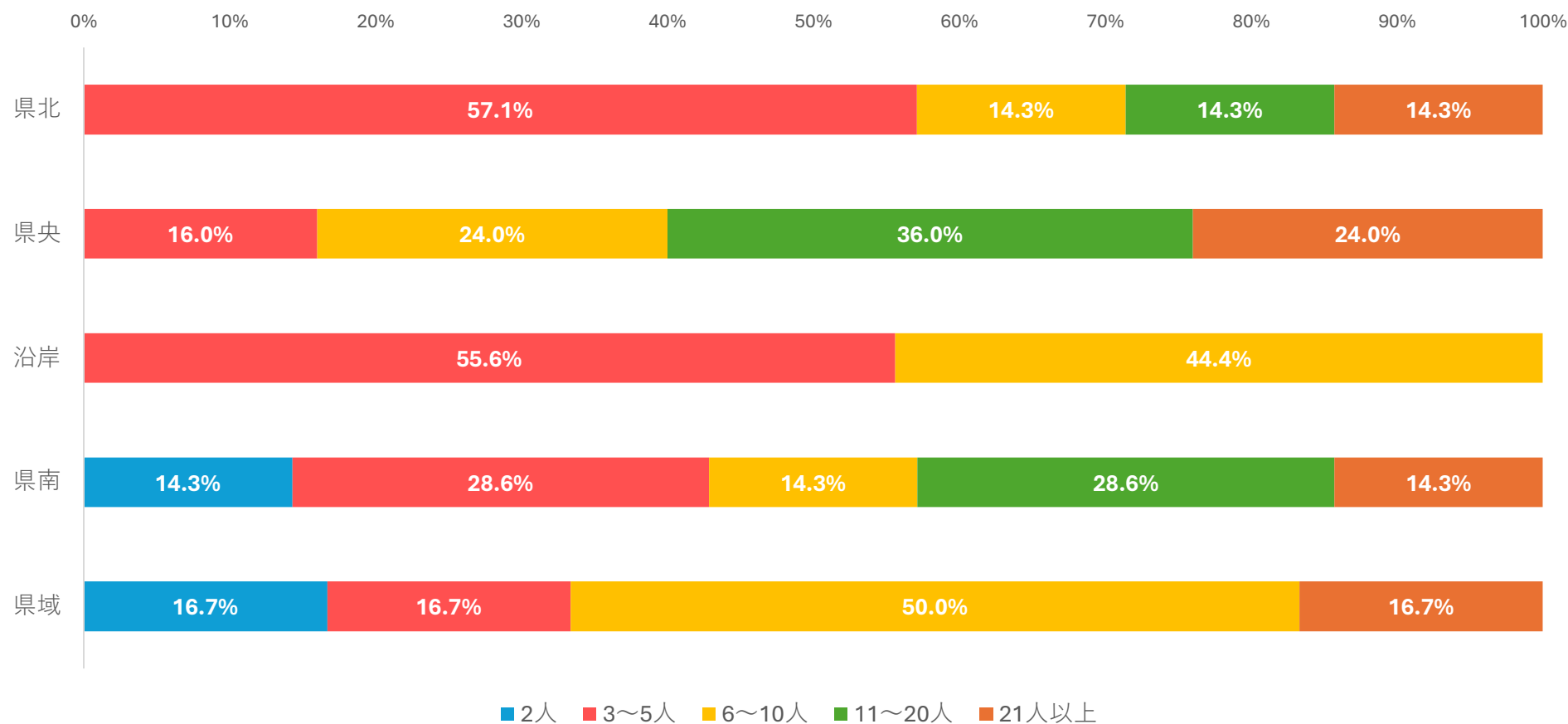
## Q8-2. 今後活動するうえで連携していきたい団体・組織を教えてください。

回答協力いただいた若者団体が今後活動するうえで連携していきたい団体・組織は、「**行政（市町村・県・国）**」が**27団体（50%）**と最も多く、次いで「民間企業」、「教育機関（小中学校、高校、大学）」の順で多かった。



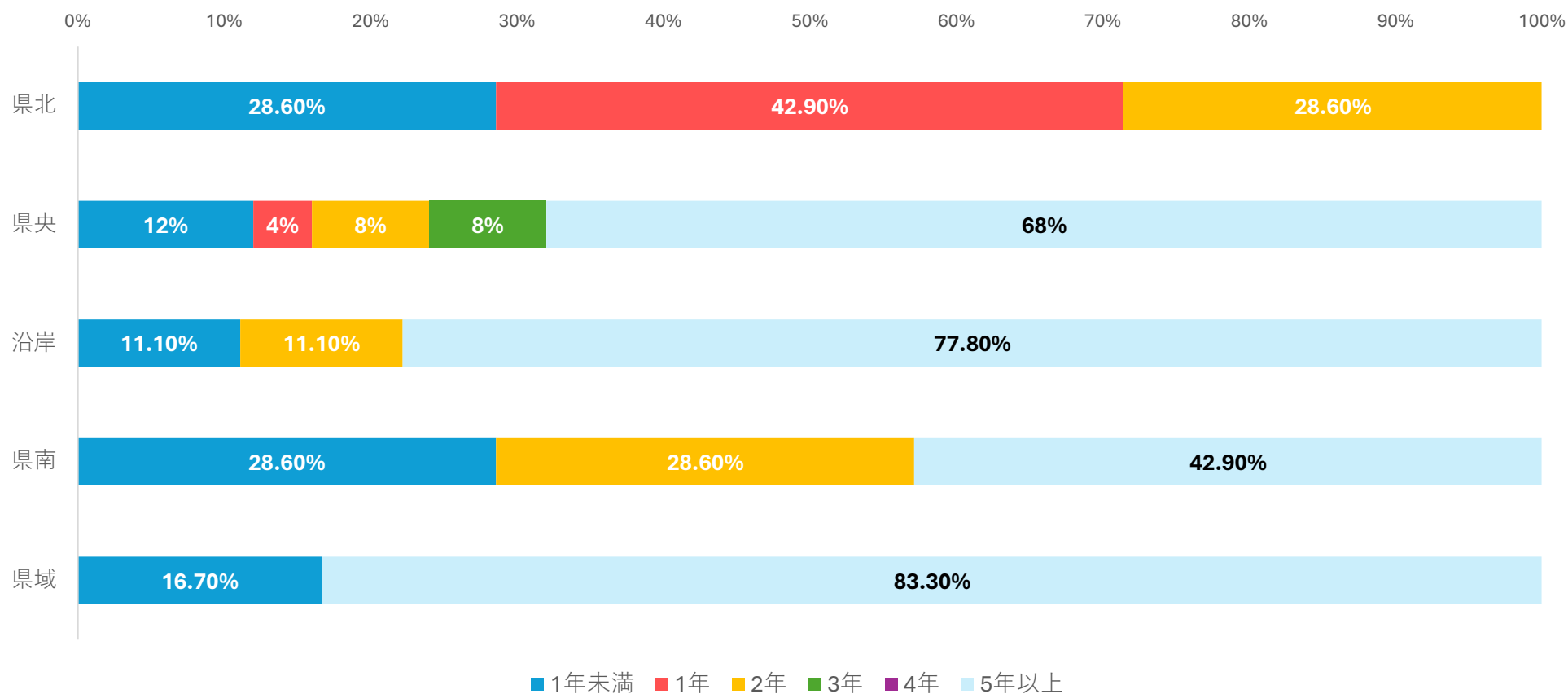
## Q9-1. 「活動エリア」 × 「活動人数」

回答協力いただいた若者団体の傾向としては、**県北・沿岸地域の若者団体は「3～5人程度」で活動している割合は過半数を超えている**ことがうかがえる。



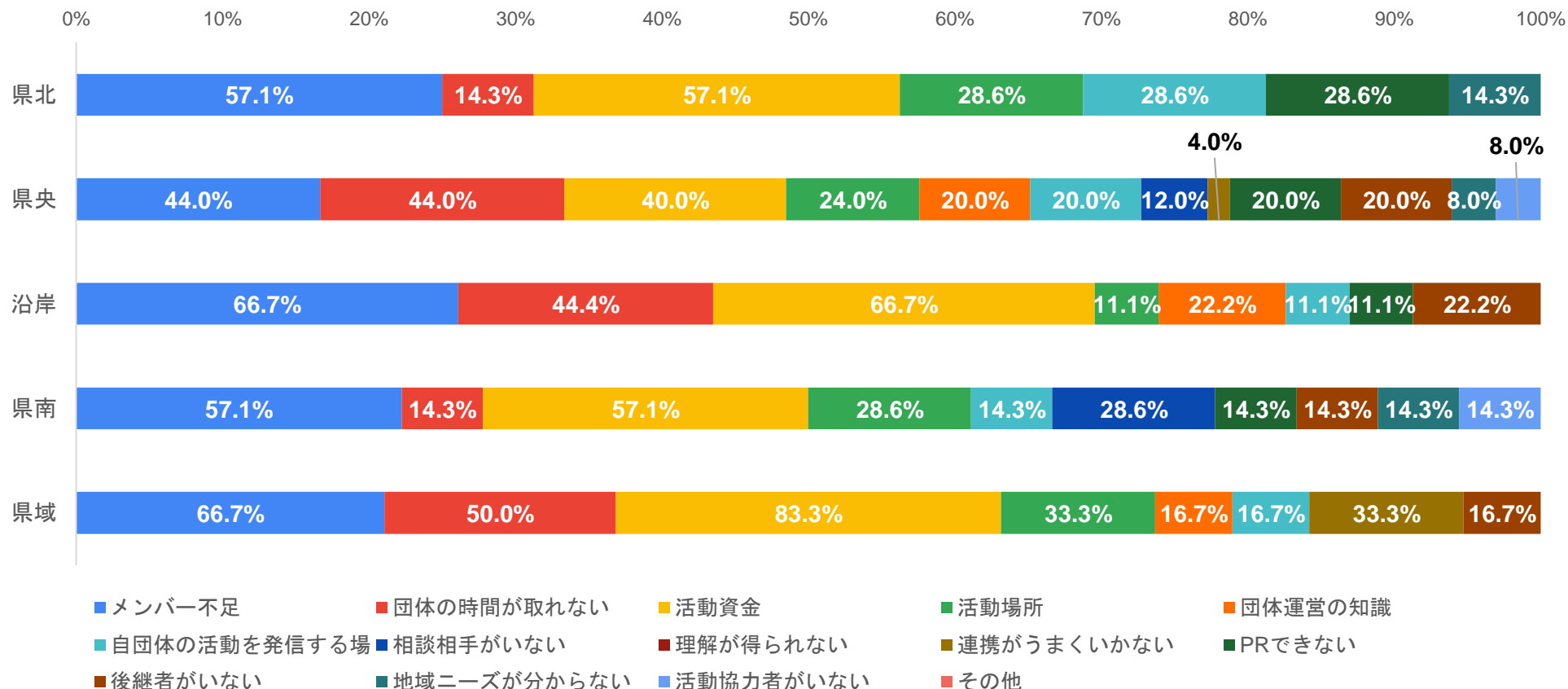
## Q9-2. 「活動エリア」 × 「活動年数」

回答協力いただいた若者団体の傾向としては、県北地域の若者団体は比較的新しく立ち上がった団体が多く、県央・沿岸地域の若者団体は5年以上活動している若者団体が過半数を超えている。



## Q9-3. 「活動エリア」 × 「活動上の課題」

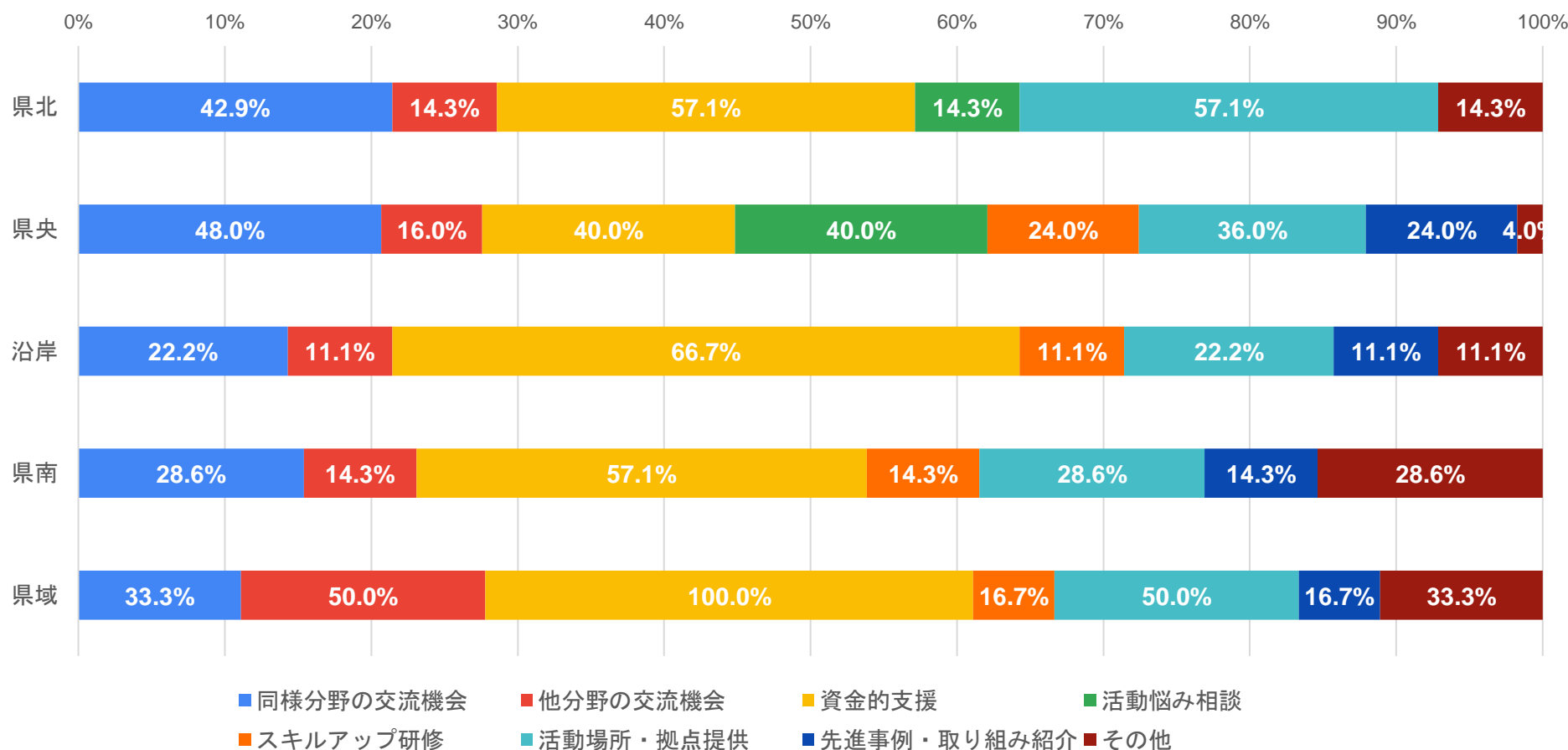
回答協力いただいた若者団体の傾向としては、どの地域も「メンバー不足」「活動資金」の課題を抱える割合が高く、「活動場所がない」という課題も3割程度を占めている。





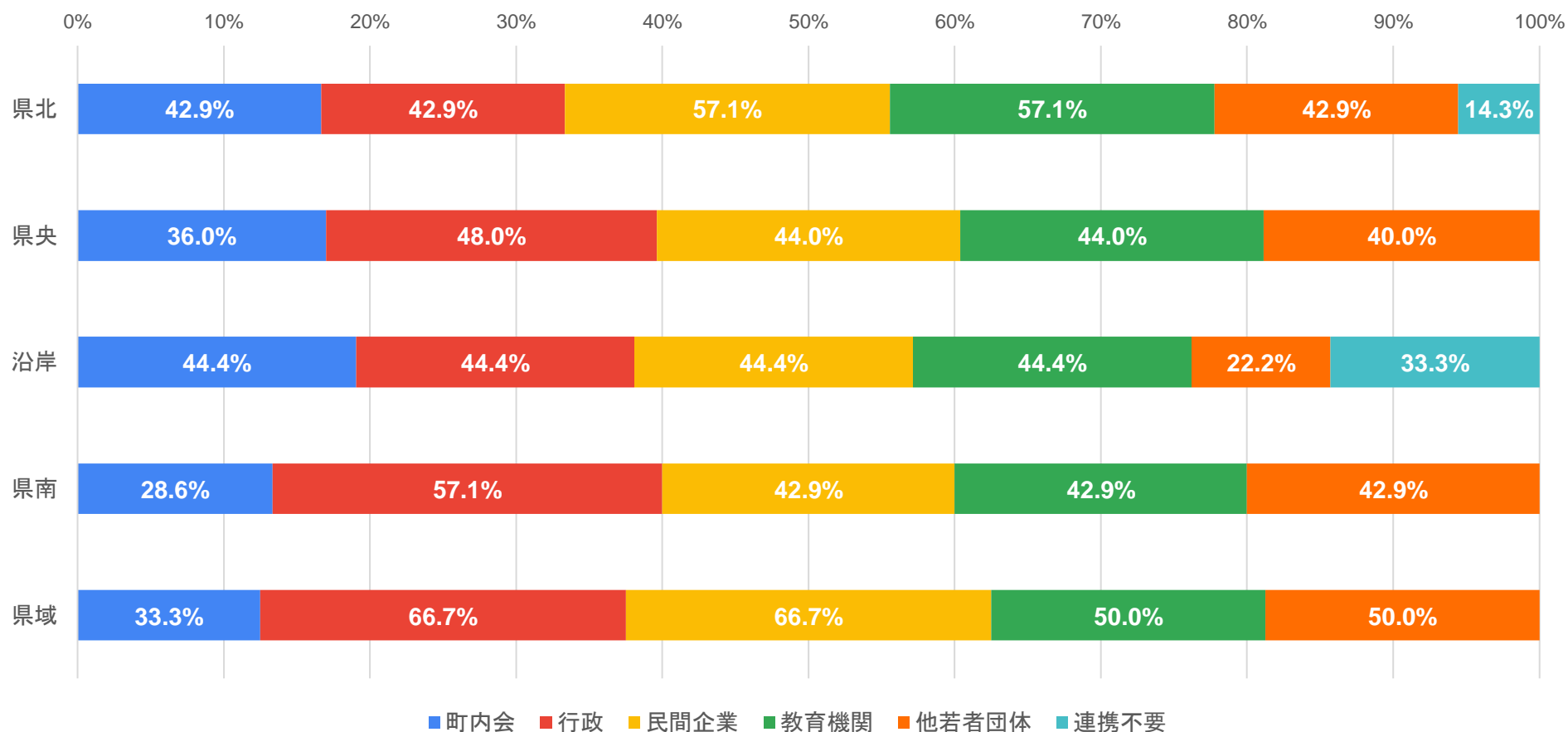
## Q9-4. 「活動エリア」×「行政・支援機関から協力してほしいこと」

回答協力いただいた若者団体の傾向では、どの地域も「資金的支援」および「同様の分野で活動する人・団体との交流」を求めている割合が高く、県北・県域地域では「活動場所・拠点」の提供が過半数を超えている。



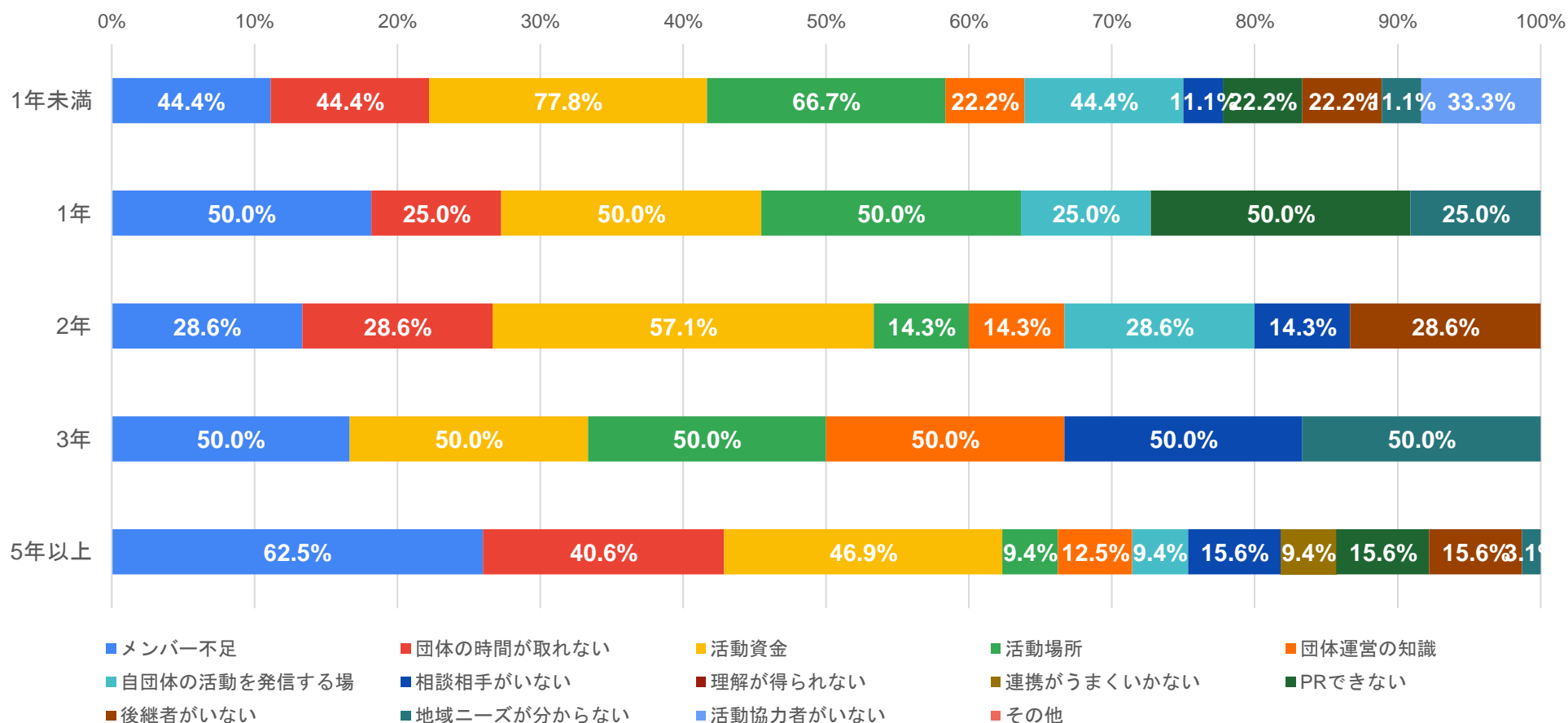
## Q9-5. 「活動エリア」 × 「今後連携していきたい団体・組織」

回答協力いただいた若者団体の傾向としては、どの地域も「町内会・自治会」、「行政」、「民間企業」、「教育機関」との連携を求めている割合が高い。



## Q10-1. 「活動年数」 × 「活動上の課題」

回答協力いただいた若者団体の傾向としては、5年以上活動している団体は「メンバー不足」に課題感を抱える割合が高く、課題感也多岐に渡り複雑化していることがうかがえる。



## Q10-2. 「活動年数」 × 「行政・支援機関から協力してほしいこと」

回答協力いただいた若者団体の傾向としては、活動1年目は「活動場所・拠点の提供」、活動2年目の団体は「資金的支援」を求める割合が高くなっている。

